

# 人工体液中における骨接合用品の曲げ試験

人工体液中で、骨プレートの耐久性を評価します。

## 測定技術の概要

水中または人工体液中で、骨接合用品の4点曲げまたは3点曲げの耐久性を評価します。試験治具や条件は、大気中における骨接合用品の試験規格であるJIS T 0312またはASTM F382を参考とし、37℃に保持した人工体液中で試験を実施いたします。

### 【試験概要】

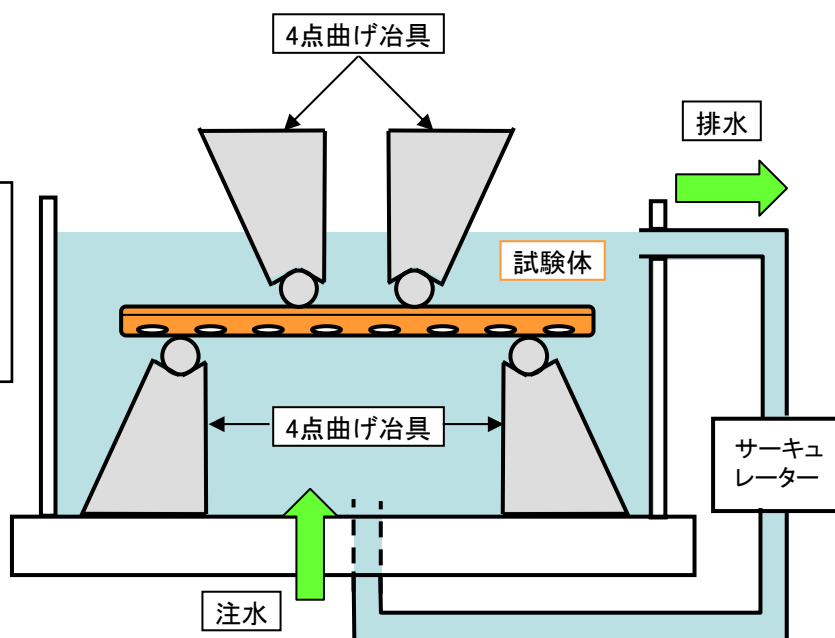
試験環境	37±2℃、液中(蒸留水または人工体液中)
試験方法	曲げ疲労試験(3点曲げまたは4点曲げ)
最大荷重	10kN
最大繰返し周波数	2Hz *
試験片タイプ	骨プレート、CHS (compression hip screw)、ネジ、ラグスクリュー

\* その他の試験周波数は、ご相談ください。

## 髄内釘の曲げ疲労強度測定例

### 【試験例】

繰返し周波数 : 1Hz  
 荷重比 : 0.1  
 試験環境 : リン酸緩衝生理食塩水  
 37℃



疲労試験概略図